

\ワーママ必見!/
小学生の
夏休みの過ごし方

2021年版



written by
まや

はじめに

こんにちは、まやです。
この度は、こちらのレポートを手にとっていただき、ありがとうございます♪

もう夏休みですね。

お子さんたちは
「夏休みだ(((o(*°▽°*)o)))」
と大喜びでしょうけど、

外で働くママさんは
「ずっと学童へ行かせてはかわいそう
かな？」
「毎日のお弁当作りはツライ、、、」

保育園時代には考えなくてよかった子どものサポートと弁当作りを考えなければならず、不安に思っている方も多いと思います。

特に、今年は”小2の壁”に頭を抱えているワーママさんがいるとネットで知りました Σ(・□・;)

去年は新学期が休校で始まり、休校の穴埋め授業のため、夏休みが2週間しかなかった小学校もあったとか！

そういう小学校の2年生は「初めて40日もの長期休暇を過ごす」のだそうで、小2にして、“小1の壁”を体験されると聞きました。

ママもお子さんもドキドキですよ。

ワーママ歴 10 年以上、中学 1 年、小学 3 年の母(2021 年現在)である私の経験が、ワーママさんがお子さんと一緒に夏休みを乗り切れるお手伝いができるのではないかと 思いました。

息子の小学生時代の夏休みスケジュールをカレンダーに落とし込み、レポートにまとめました。

このレポートを読むことで、ママさんとお子さんが一緒に長い夏休みを乗り切ることができます。

お子さんの夏休みの過ごし方に悩んでいるママさんの、お力になれば嬉しいです。

目次

1、息子の夏休みスケジュール

- 1) 思うように夏休みを取れなくても
- 2) 息子の夏休みカレンダー
- 3) 夏休みカレンダー解説

2、夏休みストーリー☆

- 1) 感動！ キャンプ参加で一回り成長
- 2) ギブ&テイク
子どもを預かったり、預けたり
- 3) 激怒！ 国内留学プログラム参加は
失敗??

3、夏休みを乗り切るためにママがすること

1, 息子の夏休みスケジュール

1) 思うように夏休みを取れなくても

私の息子は、自治体が運営する小学校の敷地内にある学童へ、小1から小3まで通っていました。

一学期が終わる頃、やっと学童に慣れてきましたが、夏休み期間に、また朝から夕方まで学童で1日中過ごすのはかわいそうだなと思いました。

というのは、息子が小学生になり、学童へ行かないで家にいる子の存在を知ることになったからです。そして

「夏休みに学童へ行かないで家でゆっくりできる子がいるのに、どうして自分は学童に行かなければならないの？」

と息子が不満を言うのでは？ と思ったからです。

私と主人が夏休みをたっぷり取れればいいのですが、それは難しかったのです。

私は仕事で海外経理を担当していました。法人税の申告期限は夏や秋で、申告のための監査で8月は例年忙しく、会社指定の夏休み程度しか取ることができません。

主人は小さな会社を経営しており、お

盆前後の 2.3 日しか休むことができません。

主人と協力し、少し夏休みをかぶせて家族旅行へ行き、それ以外は私の会社の夏休みとかぶらないように、主人に夏休みを取ってもらいました。

子どもが学童へ行かなくていい日を増やすためです。夫婦でできた工夫は、それくらいでした。

「学童以外に息子が楽しく参加できるイベントはないだろうか??」

息子が小1のGW頃からそわそわして、情報収集をしました。

息子は場所見知り、人見知りが激しいという心配はあったものの、最寄りの駅周辺までは自分で行って帰ってくる事ができました。

そこで学童を利用しつつ、

- ✓ 小学校もしくは民間主催のイベントを入れる
- ✓ 祖父母に預ける
- ✓ 息子の友達を預かったり、ママ友に預けたり

こうすることで、なんとか 40 日間乗り切ろうと考えました。

2) 息子の夏休みカレンダー

小学校時代の息子の夏休みをカレンダーに落とし込んでみました。

2021 **7** July

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
12	13	14 	15	16	17	18
19	20 学童・小学校 のイベント	21 ①	22 海の日	23 スポーツの日	24	25
26	27	28 学童・小学校 のイベント	29	30	31 	

2021 **8** August

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
26	27 	28	29	30	31	1
2 ②	3	4 学童・民間の イベント	5	6	7 	8 山の日
9 振替休日	10 祖母の家にお 泊り	11	12 母夏休み ③	13 母夏休み A君と遊ぶ	14 母夏休み 祖母宅へ行く	15 父母夏休み 家族旅行
16 父母夏休み 家族旅行	17 父夏休み	18 A君とA君パパ とプール	19 学童 ④	20	21	22 
23	24 学童・小学校 のイベント	25 	26	27	28	29
30 学童	31	1	2	3	4	5

- ① 7/20～31 学童＋小学校主催のイベント参加
- ② 8/1～11 学童＋民間のイベントや夏期講習会参加+祖父母に預ける
- ③ 8/12～17 私と主人で夏休みを取り、一緒に休む(旅行、祖父母宅へ行く、息子同級生を預かるなど)
- ④ 8/18～31 学童＋小学校主催のイベント参加+パパ友に預ける+夏祭りに出かける

※土日、祝日は私の仕事が休みなので学童へは行かず、主にスポーツ少年団の活動(練習、試合)でした。

※小4で学童がなくなると、「学童」が「児童館」「公園」「友達の家」「自宅」に変わります。

3)夏休みカレンダー解説

例年、**夏休みの前半と後半に学童に行かせました。**夏休みは学童へ来なくなる子も多いのですが、夏休みの前半後半は出席するお友達が比較的多いからです。

また夏休みの前半と後半に、水泳指導や、「寺子屋」という工作・茶道・楽器演奏などの体験ができる小学校主催のイベントに、学童を中抜けして参加できるので、

「学童一日中で飽きる」
ということもまぬがれます。

8月に入ると学童に来る友達も少しずつ減ってきます。この辺から、終日学童生活もマンネリ化するので、祖父母に預けたり、キャンプや大学の留学プログラム、近隣で開催しているイベントなど、**学童以外の予定を入れました。**

お盆期間とその前後は、私と主人の夏休みなので、学童をお休みして家でゆっくりしたり、出かけたりしました。

同時に、まだパパとママが夏休みに入っていない**友達を預かって、家で工作したり、デザートを作ったりして、遊びました。**

私と主人の夏休みが終わる頃、その前に預かった友達のパパが休暇を取って、子どもをプールなどへ連れて行ってくれることがしばしば。とても助かりました。

具体的にどんなことがあったのか、参加したイベントごとに、レポートにまとめてみますね！

2、夏休みストーリー☆

1)感動！ キャンプ参加で一回り成長

日ごろ忙しくて息子に何の経験もさせてやれていない・・・

押し寄せてくる息子への罪悪感。
せっかくの夏休みだから、何かいい経験をさせてあげられないか？ と考え、

「キャンプに参加させたい」

そう思いました。

私自身、子どもの時にやってみたかったものの、やるチャンスがなかったキャンプ。

それ自体楽しいだろうし、
日頃触れない自然に触れられて、
いろいろな「はじめて」を経験できる

保育園時代から仲良くしている A 君ママに聞いたところ、『国際自然大学校』という学校を教えてくださいました。

それは民間の自然学校でした。
HP で確認したところ、「ちゃんとした学校」で好印象。

ただ息子はキャンプの経験がない上、
新しい環境、知らないお友達に慣れる
までに時間を要して緊張する子。そんな息子がキャンプに参加できるか、心配でした。

保育園の頃通っていた体操教室では、入って半年経っても、お気に入りの仮面ライダーのタオルハンカチを身につけないと、泣いてしまうような気の小さい子でした。

だから小学校入学後も大変でした。同じ保育園から同じ小学校へ行った男友達は A 君 1 人だけ。その A 君とは同じクラスになれませんでした。

自分から気になる友達に「友達になろう」と声をかけられず、声をかけてもらうのをじっと待っていたよう。

学校では常に緊張していたようで、休憩時間の度にトイレに行っていたと本人から聞いています。

緊張のあまり、食べた物を吐くことが多く、はじめての遠足の朝、夏休み直前の給食でも食べた直後に吐いていました。

息子のことは常に心配で、なんとかしてあげたかったです。

しかし、私自身、この頃全く余裕がなかったんです。業務のローテーションを行い、慣れないインドの会計処理をしていたからです。

経理締め時はいつも
「数字が合わない TTTT」
と頭を抱え、22 時頃まで残業していました。

一番息子に寄り添ってなきゃいけない時期に、そばにいてあげられず、かわいそうなことをしました。

自分で仕事量が決められないワーママってほんとにツライなと、その時強く思いました。

それなのに、親元から離れて息子をキャンプへやっていいのか？

息子はキャンプを楽しめるのか？

私が仕事をしやすくなるだけで、息子にとってほんとにいいことなのか？

いろいろな気持ちが入り交じりました。

そこで、思い切って自然大へ息子のことを相談することに。

電話に出たスタッフは、親身になって私の話を聞いた上で、こんな風に話してくれました。

「大丈夫ですよ。仮に同じ小学校や同じエリアに住む友達がいても、班分けするときには離して、初めてのお友達と班を作ります。

友達の輪に入れなくても、スタッフが配慮して友達の輪に入れるようにします。

保護者への説明会と同時にお子さんの体験教室をやるから、一度参加してみてくださいはいかがですか？」

新しい環境の苦手な息子でも受け入れてもらえそうな雰囲気。希望の光が差

しこみました。

そこで、説明会と体験教室に親子で参加してみることに。

説明会では、キャンプに引率して下さるスタッフの紹介がありました。スタッフは職員もボランティアも、しっかり研修を受けた方々。学校は1983年開校と歴史があり、信頼できます。

同じ時間にキャンプの体験をしていた息子も、「楽しかった」とニコニコして戻ってきました。

本人が「キャンプへ行ってみたい」というので、参加を決めます。

1年生だし、1泊にしようと思いましたが、

息子の希望する川遊びキャンプは2泊3日。

「2泊も宿泊、大丈夫か??」

不安でしたが、息子の意思を尊重し、思い切ってそのキャンプに参加してみました。

出発当日の朝、大きいリュックと小さいリュックの二つを抱えて、ラッシュの電車に親子二人で乗り込みます。

集合場所の新宿西口に到着すると、学校の略称である「NOTS」と書かれたジャケットを身につけたスタッフが待っていました。

スタッフの方に、参加数日前からの健康状態を書いた紙を渡し、子どもを預け、見送ります。

出発の時。

私を振り返るかと思いきや、恥ずかしいからか振り返ることもなく、息子はさっさと去っていきました。

もう、ガクッと拍子抜けです・・(^_^;

なんだよ、、、

あんなに心配したのに、、、

寂しいなあ、、、

そう感じながらも気持ちを切り替え、

「これで仕事に集中できる♪」

と思ったものの。

「もう着いたのかな？」

「今何してるのかな？」

とそわそわ。

そんな親のために、スタッフはパスワード付きのサイトに、写真付きのブログをまめにアップして下さいます。

「時間通りに現地へ着いたんだね！」

「私が作った弁当、食べてるね」

様子がわかって一安心。

枝を集めて火をおこし、
牛乳パックでホットドッグを作ったり、
竹とんぼを作って飛ばしたり、
ライフジャケットを着て川遊び

ブログで確認する息子の顔は、終始目を輝かせてニコニコ。ホッとしました。

キャンプでは他にも

- ・どんな遊びをするか「作戦会議」を開き、自分の意見を言ったり、みんなの意見を聞いてまとめ、やりたい遊びを決める

- ・ご飯の支度や掃除など、年齢のできる仕事を割り振る

・「自分のことは自分でやる」というスタンスで生活する(難しい時はスタッフが手伝ってくれます)

という普段なかなかできないことをさせてもらえます。

参加した子どもたちはできることが増え、一回り成長して帰ってくる子がほとんど。

3日後、息子を迎えに行きました。
黒く日焼けして、少したくましくなった息子がいました。

さすがに親元を離れて寂しかったようで、帰りの電車ではベタベタ、イチャイ

チャ。まるで付き合いたてのカップルのようでしたが笑。

最初のキャンプがいい思い出になったようで、翌年以降も、夏休み、春休みに数回、キャンプに参加させてもらいました。

参加費は決して安くはないですが、共働き家庭で何の経験もさせてあげられない我が家にとっては、お金の換えられないまさに、“プライスレスな経験”。特に息子は、キャンプに参加したことで、新しい環境に飛び込むことへの苦手意識を克服できたようです。

小1の時に思い切って参加してみて、ほんとによかったと思います。

2)ギブ&テイク 子どもを預かったり、預けたり

皆さんには、気軽に子どもを預かったり預けたりできる、仲のいいご家庭ってありますか？

特に共働き家庭だと、そういうお友達がいると、とても助かりますし、心強いです。

うちは保育園時代から仲良くしているA君の家と、小学生のころから「預かったり、預けたり」をよくやってました。

A君のパパとママは教師。休日出勤もざらで、お互い交代で仕事していて、”綱渡り状態”で働いています。

A 君の家庭を見て
「先生ってほんとに忙しいんだな」と
改めて思いました。

パパもママも大変ですが、その犠牲に
なっているのは子どもである A 君。
A 君は一人っ子で、パパもママもいな
い時は、学童へ行くか一人で留守番す
ることになります。親戚はどちらも遠方
で頼ることができません。

ずっと学童へ行くのも飽きるし、
家で留守番するのも寂しいのでは？

A 君のために何かできることはないか
な？

そうだ、遊びに来てもらおう！

私の夏休みは主人もいないからほぼ出かけない。家で過ごすことがほとんどですが、下の娘は小さいから息子も飽きてくるので、こちらも助かります。

遊びにきてもらうのは丸一日。
長いので、

- ・ゲームなどで遊ぶ
- ・お昼食べる

それだけじゃなく、何か他にできないかな??

イベントごとが大好きな私は、何か加え

ないと気が済まない。

そこで、当時息子が取っていたZ会の小学生コースの「経験学習」を一緒にやることにしました。

経験学習とは「理科」や「社会」の学習につながる体験型の学習で、

- ・すいかを器にしたフルーツゼリーを作ったり
- ・ペットボトルでロケットを作って飛ばしたり

こんなことを月に一回親子でやります。

日ごろ忙しくてなかなかできなかったので、元々夏休みにやる予定でした。

A 君とフルーツゼリーを作った時のこと。

大きなスイカを見て
「スッゲー」
A 君は歓声をあげました。

私が入れるフルーツを用意しました。

メロン、みかんや桃の缶詰、キウイ

「俺、メロン好きだからメロンいっぱい入れる！」
「くり抜いたスイカをもっと入れようよ」

息子と A 君は話しながら夢中になって、スイカの中身をくり抜いて、フルー

ツを入れていきました。

寒天を溶かしたジュースを流し込み、
冷蔵庫で冷やし固めました。

出来上がった時
「わあ」とまた歓声が。

A 君が遊びに来た夜、A 君のママから
お礼の連絡がありました。

その日、パパの具合が悪かったので、
「あのゼリー、パパに食べさせたかっ
た」
と A 君が言ったとか。

Z 会の経験学習のようなことを、

友達と一緒にすると、

- 友達と一緒にできて楽しい
- 友達が飽きることがない
- 友達にとってもいい自由研究のネタになる

これだけでなく、A君がほんとにゼリーづくりを楽しんでくれたこと、A君の優しさに触れることができたことなので、「ゼリー作りやってよかったな」と思いました。

その時に作ったフルーツゼリーはこちらです。↓↓↓



私と主人の夏休みが終わるお盆過ぎ、
今度はA君のパパやママがお休みを取
る時期。

「一緒にでかけよう」
と声をかけてもらいました。
連れ行ってもらったのは、
プールや遠方の公園。

お昼は、ファストフード店へ寄ってもらったり、現地で買って食べてくれるので、お弁当の準備をしなくていいんです！

たまに食べるファストフードは、子どもにとってもおいしく感じる、、、親子ともに winwin ですわね。

夏休みだけでなく、運動会や学芸会の振替休日の時、私は有休をとってA君を預かり、家で息子と遊ばせました。近くの遊園地にも一緒に行きました。

小学校を卒業する前に、A君は私に

「また遊園地へ行こうよ」

「夏休みのゼリー作り楽しかったな」

とわざわざ伝えてくれたんです！

驚きましたしΣ(・□・;)

嬉しかったですね！！

預かったり、預けたりすることで、A君と息子にとってのいい思い出作りになってたってことなんですよ。

私自身も、A君を預かって一緒に遊んだのはとてもいい思い出になっています。

預かったり、預けたりするのは、ママが楽しめるだけでなく、子どものいい思い出にもなります。

現在はコロナ禍で、預け合いしたり、どこかへ出かけるのにちゅうちょするママもいるかもしれません。

でも長い目で考えると、仲のいいお友達はいた方がいいと思います。

ひとりでいいのでお友達を作ってみてはいかがでしょうか??

3)激怒！ 国内留学プログラム参加は 失敗??

コロナ禍で迎えた息子の小学校最後の夏休み。息子の学校は、8月から一か月間、夏休みでした。

- ✓ 中学受験しないし
- ✓ 夏休みにある修学旅行中止
- ✓ スポーツ少年団の夏合宿中止
- ✓ 小学校の水泳指導中止

という中止中止の状況。

開催されたのは、数日の塾の夏期講習と週末のスポーツ少年団の練習くらい。そのためか、小学校6年間で一番長く感じた夏休みでした。

キャンプに参加させることも考えたものの、泊まり込みの参加には抵抗が。

ある日、息子が小学校でテンプル大学のチラシを持って帰ってきました。

「日本でできる小学生の国内留学プログラム」の案内で、英語で算数、音楽、美術などを学べるプログラム。海外へはコロナで行けないので、3日間の午前か午後のうち3時間、三軒茶屋にあるテンプル大学へ通うスケジュールでした。

「泊まりでもないし、通いだからコロナ禍でも安心」

私は特に息子に英語教育をさせませ

んでした。子どものころ、英会話を習っていた友人が受験英語とのギャップから、英語嫌いになって返って苦勞している人を何人も見ていたからです。

とはいえ、周囲を見渡すと、幼少期から英語教育をしている家庭が多かったのです 

私の時代と違って、今や受験英語も“聞く”“話す”力を問われます。

「40年前の記憶が古すぎて、出遅れたか」

英語に触れさせなかった自分を呪いました。

しかも来年から息子は中学生！
本格的に英語の授業が始まります。
その前に、英語のプログラムの体験を
させてあげたいと思い、参加することに
しました。

期間は8月初旬の3日間。
1日目は有休を取って子どもの送迎を
し、2日目はテレワークをして中抜け、3
日目は土曜で仕事は休みなので送迎
ができると思いました。

1日目、息子を三軒茶屋の大学まで送
り届けます。

コロナのため、入口で子供を預けて親
は退散。一緒にいた下の娘と100円シ
ョップへ行って時間を潰そうとした時、

息子の一つ下のお子さんのママさん二人に会いました。

「Cさん？ Dさん？」

「あら、まやさん」

おふたりとは息子が低学年の時に、学童クラブのイベント係を一緒に担当し、イベントを企画してから、学年を越えて親しくなりました。息子もその子たちと学童で遊んでいたようです。

「もしかしてテンプル大学のプログラムに参加？」

「そうそう、英語全然やってないから私たち一緒に申し込んだの。二人で交代で送迎するんだ。明日は私が仕事で、

Dさんが送り迎えするんだ。まやさんの仕事のスケジュールは？」

「明日はテレワークだから、中抜けして送ろうと思ってたんだ」

「私が息子君を送ろうか？ 最寄駅に来てくれたら、連れて行くよ」

「ほんと？？ すごく助かる！」

Dさんの計らいで、2日目の送り迎えをお願いしました。

テレワークするとはいえ、家から三軒茶屋までは1時間はかかるので、送って戻ってきたら2時間近く中抜けすることになります。

テレワークの終了時間を2時間延長するのも大変。ママ友さんに送迎をお願いできてよかったです。

しかも2日目はめちゃくちゃ暑い日。家と最寄り駅の往復だけで、汗が噴き出しました💧

こんな暑い日に、三軒茶屋まで送った後、仕事なんてできなかった！
以前からの知り合いがいてよかった♪
持つべきものはママ友だよね！

とニンマリしていたのですが、テンプル大学から帰ってきた息子がめちゃくちゃ激怒。

「もうテンプル大学へ行きたくない！」

女子ばかりだし、英語で話さないとい
けないし」

「そもそも僕はこんなのやりたいなんて
言ってない！」

不満大爆発でした。

CさんDさんのお子さんたちは、学年
が違うため、別のクラス。6年生の息子
の班はガチで女子ばかり。唯一いた
男の子とは席が離れていたそうです。

先生は日本人とネイティブの外国人が
いて、フォロー体制はあったものの、英
語に慣れない息子には、3時間英語漬
けはきびしかった模様。

更に、プログラムで使ったプリントを見
てびっくり！

簡単な四則演算をするパズルみたいなものをやったようですが、

divide (割り算)

add/plus (足し算)

minus (引き算)

multiplication (かけ算)

と書いてあって、、、

プラスマイナス以外、まだ小6生には難しい単語のような・・・と私が思うほど



これはハードプログラムかも(;^_^A

最終日。「行きたくない」という本人をなだめすかして送り、帰りにかき氷とハンバーガーをごちそう↷

留学プログラムも決して安くはなく、さらに「ごちそう」という追加料金も発生、、、高くつきました。。。

「本人に確認した」と思って申し込んだプログラムでしたが、ゲーム中に確認して、生返事の状態で申し込んでしまったような気がします汗。

特に高学年になると自分の意思がはっきりしてきます。ゲームをしてない時に、本人にしっかり確認してから申し込まないといけないなと反省しました🌸

子どもの意思をしっかり確認してから、申し込むようにしましょう。

3、夏休みを乗り切るためにママがすること

息子の夏休み体験談をお話しさせていただきました。私たち親子の体験から得た長い夏休みを乗り越えるポイントは、

- ✓ 適度に学童を利用
- ✓ ママ1人で抱え込まない
- ✓ イベント探しを早めにする(ググる、ロコミを駆使)
- ✓ 外部(キャンプの組織、大学)のプログラムや夏期講習などに参加
- ✓ 旦那さん、親戚、ママ友などを頼る
- ✓ 自分も子どもの友達を預かる

だと思います。

人気のプログラムなどはすぐに定員が埋まるので、早めに情報収集するといいですね(キャンプをキャンセル待ちして、空かなかったことがあります)

国際自然大学校、テンプル大学のようなプロフェッショナル集団に頼って、日ごろできない体験をするのもよしですが、お金という対価がかかります。

ならば、**近所に住むママ友を頼って預けられる**と一番いいですよ。

そのために日ごろから、

- ✓自ら積極的に動いてママ友を作り、仲良くなる
- ✓先回りして、子どもの友達を預かる

など”give”しておくこと

つまり“**労力**”という対価を払う必要があります。

無償で手を差し伸べてくれるのは
親兄弟くらい。

与えてもらいたかったら、自分が先に
動いて与えなきゃですね。

私自身、A君を預かって、A君とA君
ママさんにできるだけ Give をしました。

そのおかげで、A 君一家も息子を預かってくれたんだと思います。

まずはママさんとお友達になって、
”Give” の精神で接していきましょう。

Giveと言っても
そんなに難しいことではなく、
自分ができるときに自分のできることを
ママ友さんやそのお子さんにしておく
ってことです。

そうすれば、自分が困ったときに助け
てもらえると思います。

Give の精神で行動していれば、きっと
助けってくれる方が現れて、長い夏休み
も乗り切れると思います

とはいえお子さんが、

- ・気が小さくておとなしい
- ・病気がち

だったら、預けるのも心配ですよね。
しかも今はコロナ禍なので、預けるのも
預かるのも、ちゅうちょするママもいる
ことと思います。

また、私は息子が一番寄り添ってあげ
たかった小1の時に、仕事が忙しく、寄
り添えなかったのが悔いになっていま
す。

皆さんには子育てで後悔してほしくない

と思います＞＜

在宅ワークで、場所と時間にとらわれない働き方ができたら、子どもを見ながら働けますね！

そんな働き方なら、ママもお子さんも安心ですよ。

※子供に寄り添えず後悔だらけのワーママまやが、在宅ワークで仕事も育児も思うままにできる、ママの新しいワークスタイルを発信中！

詳しくは、まやの無料メルマガで！⇒

※登録者の方へ、今なら「2021年オンラインイベントリスト」をプレゼント！

<https://my36p.com/p/r/axugCqit>

不明点や感想、もっとこんなレポートも
読みたいなどのリクエストがありましたら
下記メアドにご連絡くださいね。

メールアドレス ⇒

mayainfo2021@gmail.com

◆国際自然大学校のホームページ

<https://www.nots.gr.jp/>

◆Z 会経験学習ホームページ

<https://service.zkai.co.jp/el/k/natsuyasumi/n-about.html>

<https://px.a8.net/svt/ejp?a8mat=3HED10+AQZRZM+E0Q+C9QS3>

レポートは以上になります。

最後までお読みいただき、ありがとうございます。

お読みいただいた皆さんが、親子でこの夏を楽しく乗り越えられるのを祈っています！

まや

◆予告◆第二弾！ 夏休みお弁当編

「まやの息子の夏休みの生活はわかったんだけど、娘はどうだったの??」

という声が聞こえそうですね。

下の娘は、息子と真逆。キャンプも夏期講習もイベントも現在進行形で断固拒否しております。

そのため、学童は皆勤賞 (;^_^A

- ・イベント拒否
- ・学童通い詰め
- ・学童も嫌で家でお留守番

となると、今度ママが頭を抱えるのは「弁当などのお昼ご飯の準備になるか

と思います。

第二弾レポートでは、ワーママの次の問題、「楽々夏休みのお弁当編」をお送りします。

告知をお見逃しなく！